

AJU麦の会&麦の里ニュース

第 112 号 令和2(2020)年4月7日発行

定価 100 円



令和二年

四月七日(毎週火曜日発行)

AJU通巻

増刊第一三八一四号

昭和五十四年八月一日第三種郵便物承認

2020年1月18日 第1回わくわく発表会の様子

～わくわく発表会～

ふなっしーダンス

わくわく発表会に向けて、何かやりたいことがある？と聞くと、ある仲間から「ふなっしー踊る！！」と意見が出ました。だけれど、なかなか準備には取りかかれず…気づくとわくわく発表会の当日は、すぐそこまで迫っていました。

当日の2週間前！！昼休みに練習開始です。踊りたいと言ったメンバーはKさん、Sさん、Tさん。曲は「ふなふなふなっしー♪」アップテンポで曲も速い！どうやって仲間に踊りを覚えてもらおう…と、思いましたが、1人だけ始めから完璧な仲間が…そう！ふなっしー大好きKさんです。他の2人もとりあえず見て覚えよう！と、ひたすら真似をしてもらいました。

昼休みに欠かさず練習を続けて1週間たった頃…何となく、他にソワソワしてこちらを見ている仲間が2名。SさんとYさんです。2人も急遽、参加決定！！いつの間にか、みんな練習に一生懸命になっていき、昼食を早く食べて時間を作り、「練習は〇時からだよ」と作業室に集まるようになりました。練習を重ねる内に、みんな上手になっていきました。

踊りの練習も大事ですが、もちろん衣装も大事♪自分の衣装はみんな自分で作ることにしました。水色のゴミ袋と尾張旭市のゴミ袋を切って、貼り付けて制作。名札と赤いリボンを付けて、服が完成！そして、ふなっしーといえば、頭の上に芽吹く双葉。カチューシャにひまわりの造花と双葉の造花を付けて、変装準備はバッチリです！（ちなみに、Kさんによると、双葉だけのふなっしーは“1号”、ひまわりがついているのは“2号”だそうです。）衣装を自分たちで作ることで、本番、頑張ろうという想いも盛り上がってきました。

いよいよ本番の日がやってきました。ふなっしーに扮した仲間がステージに登場するとたくさんの拍手と観客の皆さんから「ガンバレー」の声援が。みんな緊張はあったものの、練習を毎日したこともあって、とても楽しく踊ることができました。

踊り終わった後は、どの顔もキラキラしていて、達成感があつたように見えました。「次は“ぶぎうぎふなっしー”！」というKさん。「緊張したー！」と言いつつもほっとした表情のYさん。「楽しかったー！」とにっこりSさん。激しい踊りを踊っても「大丈夫だよ」と、まだまだ踊れそうなTさん。踊りが大好きなNさんもウフフ…と笑っていました。

今回、こういった取り組みは初めてでしたが、みんなで何か一つの目標に向かって練習したり取り組んだりする事は、仲間にとっても職員にとっても、とても良い経験になったと感じています。また、みんなで発表会したいですね！！

(大下)



車いすダンス（療護グループ）

療護グループで車いすダンスを踊った前田です。黄色いエプロンズさんに衣装を作ってもらい、又、当日はペンライトで応援していただきました。とっても、最高でした。ありがとうございました。

仲間の皆さんは、日頃大変な生活かと思います。車いすダンスは、少しでも楽しい時間を過ごしてほしいと思い、始めました。

体力の向上、緊張の緩和（食事のしやすさ）、日常生活のメリハリ、表情の表出、職員の気づき、コミュニケーション等々、いろんな効果があると言われています。

今後も仲間の皆さんの笑顔と体力づくりのために頑張ります。わくわく発表会、とても楽しかったです。ありがとうございました。（前田）



トルネードスピン

他の仲間が「〇〇踊りたい」「〇〇が歌いたい」と案を出していて、Kさんにも何か発表ができれば…と考え、「何か発表したいことある？」と聞くと、まずは予想通り「やらない！」と拒否反応…。「そっか、そうだね」と思っていると、Kさんの方からおもむろに回転式のイスを回し、「トルネードスピン！」と言って、とても嬉しそう！

そうか！決められたダンスや歌よりもKさんはこれをみんなの前でやりたいんだね！と思い、「じゃあトルネードスピンをやろうか！」「愛さん（私）も一緒にやるから！」と誘い、照れながらもやってくれることに…。当日ギリギリになって、また「やらない」になったらどうしよう…と違う意味でドキドキしていましたが、当日の機嫌も良く、なんとかできそうな予感…。さあ、本番です！「Kさん出番だよ、ぐるっと回って後ろのドアから出てスタンバイだよ」と言う言葉も虚しく、客席に座っていたKさんは直接ステージへ（笑）（汗）施設長が特別に用意してくださった、大切な大切な事務所の回転式のイスに乗った私とみどりさんを惜しげもなく思いっきり回して、ステージは笑いに包まれ、出番終了…。どんな形であれ、Kさん自ら、今まで“照れくさい”という理由でできずにいたことが、今回はみんなに見せたい！という気持ちで勇気を持ってステージに立つことができたことをとても嬉しく思っています。ちなみにトルネードスピンとは、昔やっていたクイズ番組、“タイムショック”の罰ゲームで、問題にクリアできないと「トルネードスピン！」と言って、イスのようなものに乗って、ぐるぐる回される…これを前職員の方が教えたそうです（汗）

いまだに忘れられないのか、よっぽど楽しかったのか、作業室の誰も座っていない回転式のイスを回しては、「トルネードスピン！」と言って、嬉しそうに笑っています。今まで誰かが座っているときには、基本回したりしませんでしたが、発表会でよほど楽しかったのか、その後私がそのイスに座っていたら、回されてしまいました。Kさんの中でいい思い出になったのではないかと思います、「まったくも〜！」と言いつつも、内心嬉しい私でした。（松島）



手話ソング「負けないで」

わくわく発表会でA組さんは何をしようか？仲間の会で中々決まらない中、「手話で歌を歌いたい」との意見が出ると、何人かの仲間が手をあげました。今までにも麦では何度か行われてきた手話ソング。中でも18番？の「負けないで」をやることに決定。

ところが、お昼休みに作業室で行われた練習も中々人が揃わず、用意されたプリントを見ながら精一杯。果たして本当に大丈夫なんだろうか？

練習不足で不安がいっぱいのままで前日、下見を兼ねた練習で会場へ。すると長い間休職されているBさんが伴奏担当で登場。久しぶりの再会で嬉しくなり、気分上々。歌の助っ人の仲間も2人加わり、歌詞が不安な仲間のために（職員のために？）、大きなカンペも用意されました。

そんなこんなで迎えた当日。思っていたより沢山の来場客で、ドキドキしながら出番が来るまで仲間と手話のおさらいをして待っていました。

いよいよ本番の曲が始まると、みんないい顔でとても楽しく、あっという間に終わりました。今も時々「負けないで」の曲が流れてくると、わくわく発表会のことを思い出し、自然に手が動いてしまいます。これからも麦では色んな手話ソングが行われるはずですが、楽しく参加できたらいいな…と思っています。

(安)



作業発表（廃品回収）

今年の新年のお楽しみ会は、ダンスとか絵とか、いろいろな発表会をすることになりました。せっかく発表会があるのならば、Bグループの仲間たちとは、ぜひ仕事の様子を発表したいと思いました。毎日の繰り返しの中で、少しずつだけれども確実にできる仕事の量が増えてきています。そんなBグループのがんばりを、この機会にぜひ発表したいと思いました。

種目は、廃品回収。仕事の中身といっても、要するに、仲間たちにひたすら段ボールや新聞の固まりを運んでもらっただけでした。とはいえ、この仕事にも仲間たちの日頃の練習の成果がでています。ポイントの一つは、一度に運べる量です。両腕を使って下から荷物を持つことで、重たい新聞のかたまりが運べるようになってきました。2番目のポイントは、声誘導。視覚障害の仲間が、「こっちだよ」という職員の声を頼りに、荷物を抱えて運べるようになりました。

身体にも障害があり、知的にも障害がある。Bグループの仲間たちの多くは、重度の重複障害者です。仕事をするといっても、できないことは当然たくさんあります。けれども、当の本人たちは、「できない」なんて思っていません。これだけのことが「できる」し、「やれる」と思っています。それが、いつか彼らの誇りになってくれることが、仕事を準備する職員の目標です。

(稲)



黒猫のタンゴ



“皆のやりたい！”を合わせて、1969年にヒットしたこの曲に合わせて、希望した仲間が踊れるように振り付けを考えました。ダンスをしたいといった仲間に、付き合ってくれた職員に感謝です。ある職員は家族に協力してもらい、12人分の特注ネコミミを縫って用意して下さいました。もうその時には感無量でした。

本番は、「ダンスをする皆の前で、見本のように立って踊りたい」と言った仲間が、観客席にずっと背中を向けて踊っていたことが少々心残りでしたが、少しテンポを遅くしてもらい、皆さんで約3分間無事に発表を終えられました。

(古謝)

独唱「夢売り」



パート職員のBさん（現在休職中）が、伴奏をしてくださいました。

家や車中での練習を重ねての本番は、母が見に来てくれ、緊張もせずに歌うことができました。年の初めということもあり、母と相談して、好きな曲を選びました。※Mさんとお話をして文章をまとめました。

(古謝)

夢売り 詩：金子みすゞ 曲：萩京子

年のはじめに夢売りは、よい初夢を売りにくる。
たからの船に山のように、よい初夢を積んでくる。
そしてやさしい夢売りは、夢の買えないうら町の、
さびしい子等（ら）のところへも、
だまって夢をおいてゆく。

年のはじめに夢売りは、よい初夢を売りにくる。

作業発表（缶つぶし）

実は、移動の不自由な仲間、車イスの仲間たちの大好きな種目です。好きな理由は、自由に仕事できるから。最初に、空き缶つぶし機と空き缶をいれたカゴをセットすれば、仲間たちは1人でずっと作業を続けられます。仕事の間、彼らは、「そうじゃないよ」とか「こっちをもって、あっちをよく見て」とかの指示をされません。（職員もあくまで楽しくアドバイスしているだけで、怒っているわけではないのですが）文字通り、仕事の主人公になれるわけです。

マヒのある腕を懸命に動かす仲間、「やりたい」と思った時こそが、一番！「おのずと身体が動くのだ」ということがよくわかる作業風景でした。

(稲)





みんなでダンス

わくわく発表会のシメは「みんなでダンス♪」仲間、職員、ご家族の方、来賓の方々もみんな一緒に、“さんぼ”と“Happiness”を踊っています。“さんぼ”は手をつないで輪になって、みんなでゆったりと動く振り付け!“Happiness”は大きく指を指した可愛い決めポーズをしたら、みんなで広い会場の端から端までダッシュ! みんなで肩を組んで、ハートのポーズ!! ダンスは仲間もスタッフも来賓も。職員など関係なく、みんなでごちゃ混ぜになってやったので、隣の人が初めましての人だなんてことも(笑)ほとんどの人が初めて踊る振り付けでしたが、前田先生のリードのもと、和気あいあいと練習が始まり…いざ曲がかかると、みんなが見よう見まねで…あちこちの仲間が踊り始め、楽しい雰囲気につられ、いつの間にかみんなが参加していました。はじめはみんなドキドキとして、小さな動きで参加している感じでしたが、終わった頃にはみんなが一つになって、会場が笑顔でいっぱいになっていました!!

麦の里でこのような発表会形式の会を開くことは、初挑戦のことでした。準備期間はバタバタ、どうなることやら…と練習、企画の段階はみんながドキドキしていましたが、終わってみればあつという間で、みんなが笑いに包まれてアットホームなひとときでした。(や)

「最後にみんなでハイ、チーズ!!」



～あなたの夢を叶えましょう！～

キャラクターショー♪

何がしたいか、の問いに絵に描いたものは、楽しそうに笑っているアニメのキャラクターでした。そこから相談をして、プリキュアのキャラクターショーに行くことになりましたが、天候でのキャンセルや、予定が付かず、計画してから決行するまでに約6か月越しとなり、次こそは！とキャンセルになっては2人で落胆していました。

決行の当日、片道約50分ある会場までに、コンビニに立ち寄りおやつの購入。手を伸ばしたのは30円のヤングドーナツと三ツ矢サイダーで、盛り上がった会場に着いた頃、Eさんは感激で声を上げ、終わりの握手会も満足そうでした。少し寒かったのですが、2人でベンチに並び、購入したもので祝杯をあげました。

仲間の夢や、やりたいことを計画して相談、叶えるお手伝いをする中で、いつの間にか職員の夢、やりたいことになっていました。
(古謝)



～竜泉寺募金活動～

守山区竜泉寺にて、募金活動をさせていただきました。向かう車中では、Kさんは「募金、募金」と楽しみにしている様子でした。Mさんは「頑張って募金して皆に報告する」と意気込んでいました。Sさんは窓から外をじっと眺めていました。

現地では階段が急でしたが、Sさんはすたすたと登っていき、MさんやKさんは慎重に歩き募金の定位置まで頑張って歩きました。

募金の呼びかけを開始すると、多くの方がお金を入れて下さっていて、中には「頑張ってね！」と仲間の手を握ってくださる方もいました。とても心温まる時間でした。

Mさん、Sさん、Kさん、それぞれにとって充実した時間だったと感じています。
(坂本)



一募金活動のご報告一

竜泉寺募金、66,007円
曽野稻荷募金(3月)、15,338円

ご協力ありがとうございました！！

～新年度挨拶～

麦の里 (渡邊照予)

振り返ってみると2019年度もたくさんの出来事がありました。

◎2つ目のグループホーム「青色の麦」のリフォーム完成と事業開始(6月)

→見た目変わらず中新品!!予想を上回る出費とは裏腹な、地味な出発でした。

◎きょうされん「あいち大会」への協力と参加(10月)

→大会グッズの販売協力と、仲間4人の当日参加…大会主催に奔走された「あいされん」の皆様に対しては恐縮ですが、麦の里としてはこれが最大限の努力でした。

◎初挑戦「わくわく発表会」の開催(1月)

→少ない準備期間ながら「車椅子ダンス」のパワーで久しぶりの「大盛り上がり!!」

大きなイベントだけ取り上げてみてもこれだけあり、今年も麦の里にとって「大切な一歩」を積み重ねることができました。

そしてこれらイベントの出来・不出来とは別に、38名の仲間たちの毎日の活動が、それぞれの歩幅と歩みで、日々展開できました。予期せぬ手術と入院生活で大変だった仲間、1日も参加できない仲間もいましたが、大きな事故もなく2019年度が完結しました。

『新型ウィルス「コロナ感染パニック」』で世界中が騒いでいる中、しみじみとこの日々の積み重ねこそが、重度の仲間たちにとって「大切な活動」なのだと、あらためて思っています。「毎日通える場所」があること、自分が頑張れる「前向きに取り組む毎日の活動」があること、そして「毎日会える仲間」がいること、こうしたことが、障害者だけでなくすべての人間にとって、一番大切なことなのだと改めて教えられました。

けれども、この場の大切さを私たちはどれだけの人と共有できているのでしょうか?

何よりも、麦の里の仲間たちに関わる職員すべてに尋ねたいです。「2019年度の活動について、貴方はどれだけの人と共有できましたか?一緒に働けましたか?」

生活していくために「お金」が必要、だから少しでも高い賃金がもらえる職場を探している。これが職探しの当たり前の常識だそうです。

でも本当は、麦の里は少し違う人々を求めています。『もちろん賃金は高い方が良い。けれどもそれ以上に「自分が頑張れる職場」「やり甲斐のある仕事」そして「自分らしく働ける仕事」がしたい』そんな想いで働いてくれる職員が必要だと思っています。それが当たり前の職場になった時、きっと素敵な第2施設が完成していると夢を描いています。

さて、2020年度はどんな歳にしましょうか???

目の前の仲間たちと一緒に、その事を考えられる活動を、今年こそ一緒に組み立てたいですね。

最後にもう一つだけ、麦の里の中で12月から取り組んだ「瀬戸市障害者手当事業廃案」の反対の署名活動のこと。結果はこの3月に「廃案決定」となりましたが、わずか1ヶ月余りの活動で5,000以上の署名を集めることができ、たくさんの力をもらえた取り組みとなりました。

障害者の1ヶ月2,500円の手当を削りながら、市長、市議の歳費は増額するという瀬戸市の予算の決め方には、疑問を持たざるを得ませんが…。



仲間自己紹介

あしはらたかひろ
芦原貴大さん

みんなをリードして、とても頼りになる存在。車や人が近くを通るときには、「危ない!」と言って、スタッフの前に出て、守ろうとしてくれたり、元気がない仲間やスタッフなどに“元気?”、“大丈夫?”と声をかけたりと、とても優しいんです。

これだと思ったことには一直線な性格。何にでも一生懸命で、周りのことが目に入らない、耳に入らないことも…自分の気持ちを周囲の意見に左右されることもあるが、時には頑固でもあります。

車が好きで、麦の里に来る車をチェックしています。特に車の助手席、チビタ号が大好きで、車に乗るときは、職員と一緒に運転の真似をして、その顔は真剣そのものです!

ちょっと首をすくめたように頭を動かして、挨拶するポーズ、ごめんなさいと言うときには両手を前で合わせて…バザーの時などには、人差し指をほっぺに付けて“にっ!”と笑う決めポーズが素敵なんです。

言語障害のある脳性麻痺の方の典型というか、「言葉で喋ろう」と振り絞っている間に、頭の中で伝えたい中身がどんどんと飛んでいってしまっ…自分の伝えたいことを整理しきれなくて、尻つぼみになってしまいがち…そんな場面をよく見ます。でもだからこそ、言葉ではない部分が素晴らしい人だと思います。

“言葉に頼らないコミュニケーション”を増やしてあげたいです。Aグループでは、周りの仲間から急かされたりする場面が多かったけれど、少しのんびりしているBグループではそれが減りました。共同作業の場面が増え、できること、頑張れる場面が仲間の中で増え、みんなで達成感が持てて良かったのではないかと思います。

「しゃべり」ではなく、「行動を磨く」。ある意味、Bグループの仲間たちの目指す姿の最先端を行ける人かも!できることを増やして、男を磨いてください!!



素敵なひな祭りの衣装♪

瀬戸蔵にて。

職員のつぶやき

私の趣味はラジオ聴取です。私は俗にいう「ラジオ職人」で、時間があればひたすらラジオにメッセージを送っています。もちろん、ただ聴くだけの場合もあります。

1日でいくつもの番組でメッセージが読まれる事もあれば、数年送っても未だに一度も読まれない番組もあります。苦悩してネタを考えて、読まれたときの感動と喜びはありません。

今はワイドFMと言ってFMラジオの周波数で東海ラジオやCBCラジオなどのAMラジオでも、クリアにラジオが聴けるのですが、その分、エリアは限られます。AMラジオは雑音まじりであっても、チャンネルを合わせて深夜なら遠くのラジオ局が聴けました。

そして、ネットの普及によりradikoというアプリなどから、全国のほとんどのラジオ局がスマホやパソコンでも聴けるようになりました。

だから私はスマホやパソコンを使って、時間があれば日本各地のラジオ局を聴取しています。

最近は「AI（人工知能）DJ」が登場し始めています。中部エリアだと「ぎふチャン（岐阜放送ラジオ・岐阜県）」、関東エリアでは「J-WAVE（ジェイウェイブ・東京都）」、「関西エリアでは「FMCOCOLO（エフエムココロ・大阪府）」「ラジオ関西（兵庫県）」など。番組を聴くと、その声はたどたどしかったり、流暢に話せたりと各局、個性豊かです。

しかも、実際にラジオDJとAIのDJがやり取りできたりして、時代を感じました。

そこで思ったのは「そのうちラジオDJがいなくなってしまうのでは」という不安です。

確かに、現役のラジオDJで、かつて名古屋のZIP-FMで活躍され、今は埼玉県の本ACK5（ナックファイブ）等で活躍される小林克也氏ももうすぐ80歳になりますし、福岡のKBCラジオで活躍される栗田善成氏は81歳です。

若いラジオDJも登場して、まだラジオも世代交代こそ行われていますが、DJの高齢化は進み、また、AIのDJも登場して、それが必要とされているのも事実です。

ラジオは（今の）テレビにはない「ふれあい」があります。「メッセージ投稿」というふれあいです。公開生放送のある番組なら、メッセージ投稿だけでなく、時間があれば、放送後にDJと実際に話の出来るふれあいもあります。

これからも「ふれあい」を大事にして、いつまでも「人と人のふれあい」をラジオ業界でも忘れないでほしいと思います。

ん？それって、介護の業界でも必要なことではないでしょうか。

介護の世界は、常に人手が不足しています。しかし、人材はあるはずなんです。何故、それが無いのか？

今は、介護の業界にも徐々に介護ロボットというのが登場し、パワースーツという装着できる介護ロボットや、かわいらしい動物の形をした癒しロボットなど、様々なタイプで介護をサポートしてくれます。

しかし、それは利便性だけで「人と人のふれあい」とは程遠く思います。

介護の世界は「人と人のふれあいが大事な業界」だと今でも思います。

ぜひ、将来にまだ迷う人がいるのなら、一度、介護の世界に飛び込んでみてはいかがでしょうか。

最後に、私のおすすめのラジオ番組を紹介します。

J-WAVE「WITH」（ナビゲーター：武藤将胤くむとうまさたね）金曜日・26：30～27：00

ALS（筋萎縮性側索硬化症）という障がいを持ちながら、脳力とテクノロジーを駆使しラジオを通じてメッセージを送る武藤将胤さんがDJをされています。進行性の障がいがある為、声は自動音声システムを利用していますが、そのトークはまさに「人と人のふれあい」です。機会がありましたら、ぜひ聴いてみてください。

(ラジオネームだけでプロのDJだけでなくお笑い芸人を笑わせた事のある(笑) ラジオおたく・こばゆ)



新人職員紹介

やまぐち と も み
山口 智美さん

「出身は瀬戸市。性格は真面目そうに見えて、天然でおっちょこちょいの所もあります。我が家は4世代、大家族です。今回新型コロナウイルスのため、どの店に行っても、トイレットペーパーが無く、先週トイレットペーパーが無くなりました。親戚やお兄ちゃん宅から少しずつ分けてもらい、やっと一家族1袋OKでトイレットペーパーが買えました。そんなときに限って、トイレットペーパーを使うのが多く感じる毎日です。休みの日は買い物と孫の面倒を見ています。

麦の里は職安で紹介され、昨年10月からパートで働き、12月から正社員になりました。今まで高齢者の介護をした経験はありましたが、障害者の介護は未経験でしたので、いろいろなことをやってみたいと思い、微力ですが、精一杯頑張りたいと思います。」と意気込んでいます。

人の良いところを見つけるのが得意な山口さんは、とても褒め上手で、仲間の細かい体調等の変化にも気づく鋭さを持っています。あっという間に麦の里の仲間にも、職員にもとけ込み、持ち前の明るさと力強さで、どんな仕事にも真面目に向き合っているのが印象的です。

＃アグネスコラム

あなたが辛い時に、信頼している人から「これが人生です」と一言だけ言われたら、あなたはこの言葉をどう解釈しますか？すぐに憤慨してしまうのでしょうか？それとも、この言葉の意味を少しでも考えてみるのでしょうか？言葉の意味について、原因と結果について考えてみるのもよいでしょう。そうして少なからずいつか、後悔の中でも、経験に感謝することができるような人生となりますように。

お礼のコーナー

〈敬称略 順不同〉

◆◆麦の会の会員・賛助会員◆◆

賛助会員更新：小林久恵

◆◆社会福祉法人麦 及び 施設麦の里へ寄付金&物品をいただきました◆◆

前田美智子 尾崎仁美 鯛谷裕恒 明治安田生命瀬戸店 成澤君枝 水野初美
加藤芙美子 加藤錠蔵 匿名希望多数

—お詫びとお断り—

賛助会員の申し込み、バザー用品、また寄付金などのご協力を頂いた方については、事務処理の都合上掲載が次号になる場合があります。申し訳ございませんが、御了承下さい。(3月10日現在)

①生活支援員（介護職）正職員・パート

②ホームのサポーター（朝の掃除など）

を大募集しています！

サポーターはグループホームで下記の時間帯での勤務です。

朝：8：00～10：00（週1回からOKです）

みんなで協力してやりましょう！！



— 今後の予定 —

4月 4日(土) 麦の会 定例会
 10日(月) イエローシートキャンペーン
 11日(火) イエローシートキャンペーン
 12日(日) 山口ふれあい朝市出店予定
 25日(土) 麦の会 役員会
 28日(火) 北山地区廃品回収予定

5月 9日(土) 麦の里 定例会
 11日(水) イエローシートキャンペーン
 26日(火) 北山地区廃品回収予定
 30日(土) 麦の会 役員会
 31日(日) 山口もーやっこ de ふれあい祭
 出店予定

やすらぎ会館 木曜市 開催日

* 4月*

2日 午後
 9日 午前
 16日 午後
 23日 午前
 30日 午後

* 5月*

7日 午前
 14日 午後
 21日 午前
 28日 午後

※ 変更になる場合もございます。

午前：10：00～11：30

午後：13：30～15：00

会場

住所：愛知県瀬戸市川端町1-31

電話：0561-84-2011

※新型コロナ対策で、やすらぎ会館のイベントは中止が多く、人影もまばら・・・でも、なるべく販売に行くようにしています！

障害者とともに歩む
 生活介護事業 及び
 就労継続支援事業B型
 共同生活援助事業

麦の会

麦の里

七色の麦

〒480-1214 愛知県瀬戸市上品野町1354-12
 電話(0561)41-4124/FAX(0561)41-3766
 HP <https://mugisato.or.jp>
 Mail nakamanowa@mugisato.or.jp

編・集・後・記

一押しは麦の里初の“発表会”。

それぞれがやりたいことに

いろいろと挑戦しています！！

普段とは違う仲間が見られ、麦らしい

アットホームな会になりました ^▽^